



こんにちは
加藤ひろし
です

第56号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

<らしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
3551-6820 (事務所)
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

**たまり続ける高濃度の放射能汚染水
政府の責任で英知を集めて対策を**

重大事故を起こした東京電力福島第1原発で放射性物質によって汚染された水が大量にたまり一部が外部にも流出して汚染を拡大させている問題は、いよいよ東京電力だけでは手に負えないことが浮き彫りになっていきます。東電が急いでいるのは建屋から海側に延びる地下トンネル（トレンチ）にたまった高濃度の汚染水を抜き取るため建屋とトレンチの接合部を凍らせふさぐことですが、4月から始めた工事がうまくいっていません。

たまり続ける高濃度の放射能汚染水

福島第1原発には山側から毎日400トンの地下水が流れ込みます。その地下水が原子炉建屋のなかで放射性物質によって汚染された水と混ざり合ったのが汚染水です。東電は汚染水をくみ出しタンクにためてきましたが、大量にたまり続ける汚染水はタンクを林立させても間に合わず、昨年の汚染水漏れ事故のように、深刻なのは建屋から延びるトレンチで、巨大なトンネルの中には1万1000トンもの高濃度の汚染水がたまっていきます。

重大な放射性物質の流出

失敗続きの東電任せ限界

トレンチの遮水がうまく行かず外部への流出が続く、凍土壁で地下水の流入をとめるという計画も始まらないとなれば、汚染水対策はいよいよ見通しがたたなくなり、東電任せはもはや限界です。

国が「前面」に出るといいながら事実上東電任せを続けた安倍政権と、外部か

らの批判には耳を貸さず秘密主義でことをすすめている東電の責任は重大です。文字通りの責任で、あらゆる英知を総結集する対策が求められます。

全原発再稼働断罪―福井地裁判決

今年5月の大飯原発再稼働差し止め訴訟の福井地裁判決は、人間の生存を基礎とする人格権が憲法上最高の価値をもち、電力の安定供給やコスト問題をてんびんにかけて関電側の議論を「法的に許されない」と断罪。「国富の喪失」とは運転停止による貿易赤字でなく「豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していること」を失うことだと強調しました。福島原発事故の現実をふまえたこの判決をしっかりと受け止め大飯原発はもとより、全国の原発の再稼働を中止すべきです。

私(加藤博司)は、「原発のない社会」を願うみなさんと力を合わせ頑張ります。



右は、毎週火曜日の早朝宣伝。勝鬨橋南詰バス停前から訴える私(加藤博司)

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党区議団ニュース

2014年8月下旬号 中央区築地1-1-1
電話3546-5563, FAX3546-9570

福島事故費用は11兆円は国民負担 東電は破たんさせて廃炉こそ「経済的」

右記の図表は、2014年8月25日付「しんぶん赤旗」3面に紹介された図表です。
 (大島堅一・除本理史「福島原発事故のコストを誰が負担するのか」から、岩波書店『環境と公害』7月刊)より

福島原発事故のコスト		
損害賠償費用	損害賠償(要賠償額) 賠償対応費用	4兆9088億円 777億円
原状回復費用	除染費用 中間貯蔵施設	2兆4800億円 1兆600億円
事故収束・廃止費用		2兆1675億円
行政による事故対応費用(除染以外)		3878億円
合計		11兆819億円

税金を使った東電救済の仕組み

